

日本初の公的機関と提携した検体管理サービス

検体バンキングサービス

TRI<(財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター>と提携し、お客様からお預かりした検体を、倫理指針に基づいた個人情報保護のもと、施設・運用面ともにバックアップ体制を完備した最適環境にてお預かりいたします。

検体保管方法



滅菌済真空採血管で採血。
冷凍保存に最適な滅菌チューブで保管。

検体バンキング施設



警報システムや監視室など、不測の事態に対するバックアップ体制完備。



検体匿名化システム



連結匿名化、次世代暗号化を採用

セキュリティシステム



IDカード認証



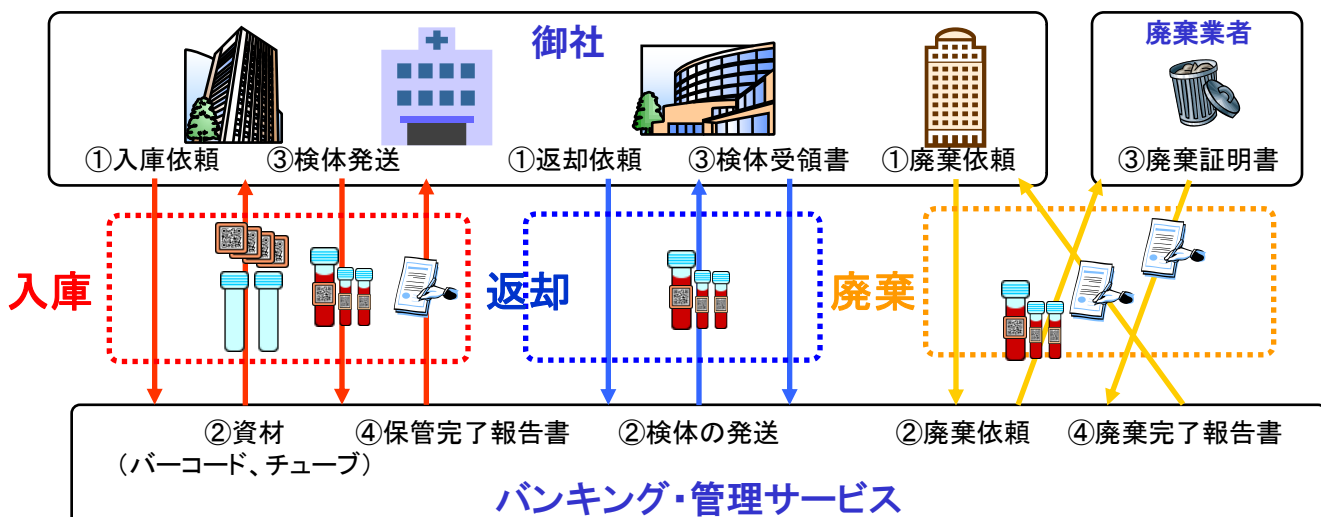
指紋認証



血流パターン認証

徹底した入退室システムで、
強固なセキュリティを実現。

■検体の取り出し・ SHIPPING



- ・血液サンプルからのDNA抽出サービスのご相談も承ります。
- ・再入庫は原則として受け付けません。

■最大保管可能検体数

DNA保管: 超低温フリーザー 約25,000検体
 血液保管: 液体窒素タンク 約35,000検体

■保管期間

5ヵ年もしくは10ヵ年間

■検体管理方法

超低温フリーザー:

警報保安機能付フリーザーを使用しています。
 電子式記録計により、庫内設定温度・現在庫内温度を定期的に記録します。
 2分割内扉により、開閉時の冷氣漏れを防ぎ、適切な庫内環境を維持します。

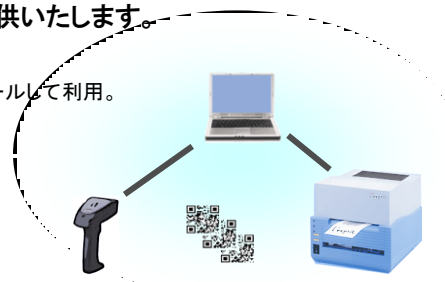
液体窒素タンク:

気相保存のため、液体窒素を媒介したバイアル間のコンタミがありません。
 全て制御盤により制御されており、現在容器内温度を定期的に記録します。
 ふたの開閉やラックの出し入れによる温度変化が少なく、一定の超低温下を保持し、貴重なサンプルを長期間、安定して保存することが可能です。

■オプション

ご要望に応じて、バンキングに必要な検体の匿名化サービスをご提供いたします。

- 匿名化ソフトウェア
 - ✓ Windows2000以降のOSを搭載した、ノートPCまたはデスクトップPCにインストールして利用。
 秘匿性が必要なため、専用PCをご用意致します。
- バーコードプリンタ
 - ✓ 超小型バーコードバーコードプリンタ。QRコードを印字。
 - ✓ オートカット機能装備
- バーコードリーダー
 - ✓ ハンディタイプからペンタイプまで様々なものを選択可能。



TRIは、「個人のプライバシーの保護」や「倫理性の確保」に留意し、データ自体の「科学性・信頼性の確保」、「研究者の知的財産権への配慮」を踏まえた倫理性の高いデータベースが構築されており、高いセキュリティ管理や安全対策、さらに環境への配慮も十分にされた施設です。